

## 1. 実験のねらい

葉脈のつくりを観察し、網目状側脈、平行側脈、三行脈、掌状脈などがあることを発見させる。

校庭の樹木を集めさせ、スケッチしたり、押し葉の標本をつくるなど葉脈の様子ができるような資料が作成できるようにする。

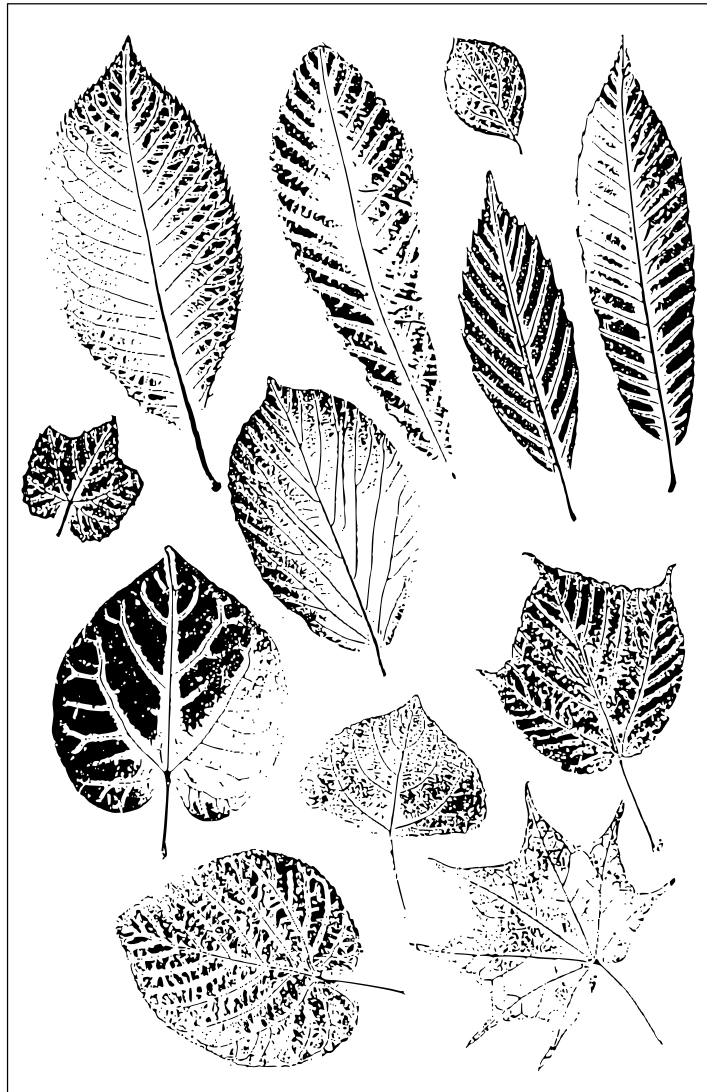
## 2. 準備するもの

- ・上質紙 ・版画用のローラー2つ（1つは絶対にインクを付けないこと）
- ・版画用の油性インク ・新聞紙 ・ピンセット ・バット

## 3. 方法

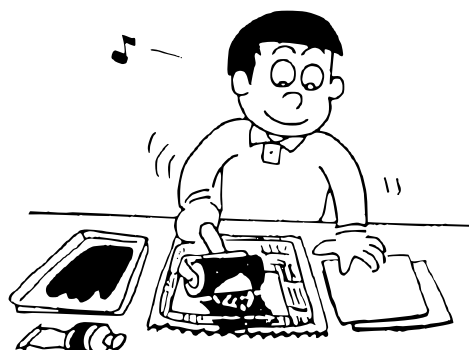
校庭からいろいろな種類の葉を採集する。

## 実施例

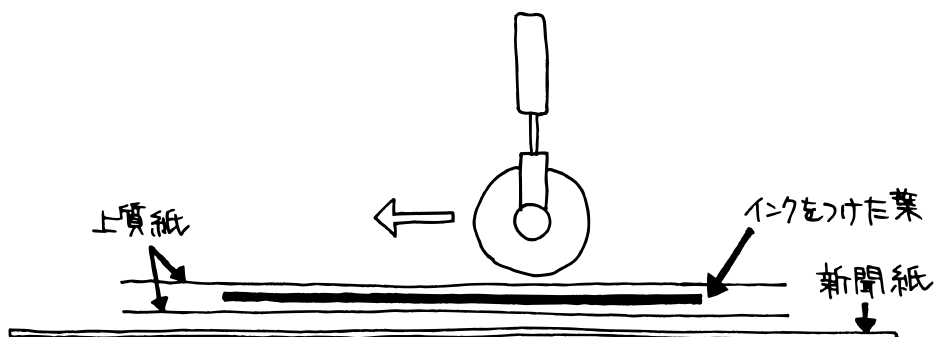


サクラ	クヌギ	エゴノキ	アラカン
クリ	ノブドウ	ガマズミ	ハナズオウ
ポプラ	ウリハダカエデ		ヒトツバカエデ
イタヤカエデ			

葉を新聞紙の上に置き、ローラーで油性インクを葉の両面につける。  
このときインクのつけすぎに注意。



両面にインクをつけた葉を上質紙にはさみ、インクの付いていないローラーで強くこすり、拓本をとる。はじめは上質紙を使わずに新聞紙などを使ってインクの量などを調節してください。  
(ローラーは往復させないで必ず一方に向かってかけてください)



葉脈の種類によって分類する。

工夫次第で便せんなどもできます。